

## 第4回ぎふグリーン・ツーリズムネットワーク下呂大会開催要領

### 1 目的

県では、豊かな自然や伝統文化とその恵みに育まれた農林漁業を地域資源ととらえ、それらを活かしたグリーン・ツーリズムを積極的に推進しています。

近年その取組のすそ野が広がり、県内各地で个性的かつ魅力的な取組が実践されるようになりました。そこで、グリーン・ツーリズムに関わる者が一堂に会し、農林漁業や農山村が持つ様々な魅力と今後の可能性について議論するとともに、相互交流と情報交換を通じ“ぎふグリーン・ツーリズム”の底上げと情報発信を行うことを目的とし、本大会を開催します。

### 2 テーマ

地域の宝を人と人でつなぐグリーン・ツーリズムをいかにデザインするか  
～人が集う・つながる、魅力あるグリーン・ツーリズムを考える～

### 3 期日

平成26年11月19日（水）～20日（木） 2日間

### 4 場所

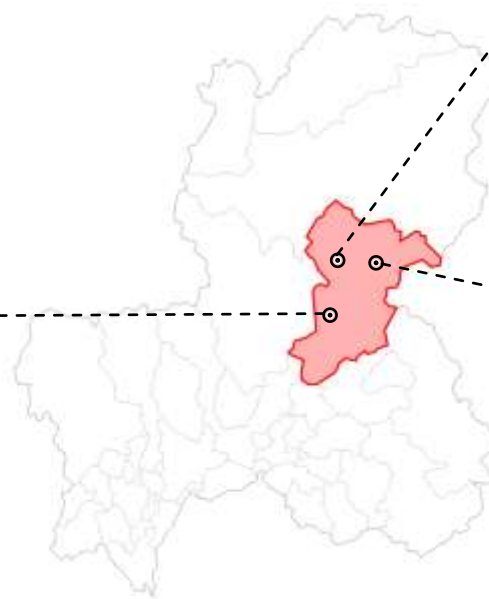
下呂市萩原・馬瀬・小坂地域  
メイン会場：南ひだ健康道場  
エキスポン分館：萩原地域  
馬瀬地域  
小坂地域  
交流会会場：小坂地域



萩原地域  
南ひだ健康道場



馬瀬地域  
日本で最も美しい村



小坂地域  
岐阜の宝もの小坂の滝めぐり

### 5 主催

岐阜県、岐阜県グリーン・ツーリズム推進連絡会議

### 6 後援

東海農政局、下呂市、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構、  
特定非営利活動法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター

### 7 協力

南ひだグリーン・ツーリズム推進協議会

## 8 内容

### 【第1日目】

時 間	内 容
12:30～	受付開始（南ひだ健康道場 健康学習センター 実践道場）
13:00	開始のあいさつ
13:00～18:30	<p>エクスカーション+分科会</p> <p>①下呂市萩原地域            エクスカーション：下呂の食にふれる            第1分科会：こんな食に人は集う            ＊地域に伝わる伝統食や郷土料理などを考え、伝承と魅力の広げ方などについて考える            コメンテーター 石田賀代子 氏（ビスターリマーム代表）            コーディネーター 横山 太一 氏（山県市集落支援員）</p> <p>②下呂市馬瀬地域            エクスカーション：日本で最も美しい村「馬瀬」を歩く            第2分科会：地域の資源をお宝に変える            ＊地域のお宝（資源）の活用方法を考え、自分たちの地域にある資源は何か、都市と農村をつなぐために何ができるかを考える            コメンテーター 蒲 勇介 氏（特定非営利活動法人ORGAN理事長）            コーディネーター 三島 真 氏（郡上八幡・山と川の学校校長）</p> <p>③下呂市小坂地域            エクスカーション：岐阜の宝もの小坂の滝めぐり            第3分科会：魅力ある体験を安全に提供する            ＊リスクに備えるためには、どうしたらいいか、何をすべきかを考える。            コメンテーター 久保田繁男 氏（特定非営利活動法人森づくりフォーラム理事）            コーディネーター 加藤 春喜 氏（トヨタ白川郷自然学校マネージャー）</p>
18:30～	交流会 ※宿泊場所は当日案内されます。

### 【第2日目】

時 間	内 容
8:00～	受付開始（南ひだ健康道場 健康学習センター 実践道場）
8:30	開会
8:30～8:40	あいさつ（岐阜県農政部長、下呂市長）
8:40～9:00	分科会報告
9:00～9:30	ぎふグリーン・ツーリズム戦略会議に関する進捗状況について
9:30～11:00	<p>基調講演『グリーン・ツーリズムのこれまでとこれから』            講師：青木 辰司 氏（東洋大学社会学部教授）</p>
11:00～11:05	休憩
11:05～12:25	<p>パネルディスカッション『人が集う・つながる、魅力あるグリーン・ツーリズムを考える』            パネリスト：石田賀代子 氏（ビスターリマーム代表）            蒲 勇介 氏（特定非営利活動法人ORGAN理事長）            久保田繁男 氏（特定非営利活動法人森づくりフォーラム理事）            コメンテーター：青木 辰司 氏（東洋大学社会学部教授）            コーディネーター：三島 真 氏（郡上八幡・山と川の学校校長）</p>
12:25～12:30	次期開催地あいさつ 恵那市農山村体験推進連絡会議 大島会長
12:30	閉会

## 9 参集者

グリーン・ツーリズム実践者、都市と農村の交流に興味のある方、行政担当者など

## 10 定員

先着 100 名（ただし、定員を超えた場合でも 2 日目の全体会のみ参加は可能です。）

## 11 参加費

無料（ただし、交流会費（5,000 円）及び宿泊料（5,000 円）は別途精算）